

地域を元気に
人と人の絆を
結ぶ。

まちづくり

香南市では、まちづくり自治会や協議会の設立に向けた取り組みの応援を行っています。ぜひ、あなたの地域に自治会や協議会をつくり、交流の輪を広げていきましょう！

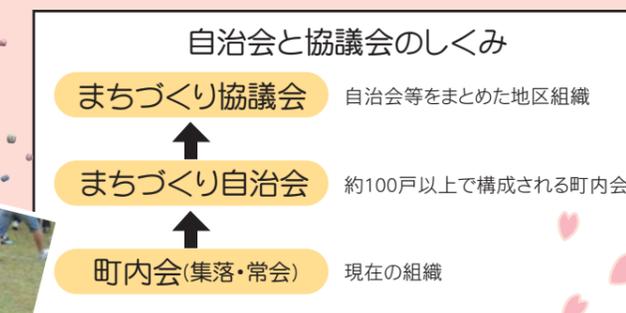


各地区には、町内会や常会といった組織があります。しかし、少子・高齢化などにより「人が集まらない」「集まらないから何もできない」といったことはありませんか？

自治会・協議会は、「組織」として活動します。昔と比べ、住民同士の共同意識が薄れ、地域活動に参加する人も少なくなっています。

1人でできること、家族でできることもありますが、環境美化や防犯・防災活動など、地域が一緒になって取り組みれば、さまざまなことができます。

災害時の助け合いや地域の活性化、子どもたちが健やかに育つ環境づくりなど、地域の特性を活かしたまちづくりをするため、あなたの地域に「まちづくり自治会や協議会」をつくりませんか？



香南市地域活性化総合補助金

2月末現在、市内では53自治会と8協議会が設立され、それぞれの団体で、工夫を凝らしながら交流を行っています。

「自治会や協議会をつくれれば、いろんなことをせないかんき大変や!」という声も聞きますが、あまり「大きな事業を!」とせず、まずは、みんなが集まれる場づくり、楽しくできることから始めましょう。

おじいさんが子どもたちに、懐かしい竹馬や凧づくりなど、昔遊びを教えたり一緒に遊んだり…、これも自治会活動の一つです。

補助制度の内容と限度額

※補助率はすべて100%以内

- まちづくり自治会・協議会 (自主防災組織、健康を守る会を含む)の活動 …年間1自治会、協議会あたり、町内会または常会等に加する世帯数に自治会は**2千円**をかけた額。協議会は**4千円**をかけた額。

対象団体

- まちづくり自治会(約100戸以上で構成される町内会)
- まちづくり協議会(いくつかの自治会をまとめたもの)

補助対象事業

- 会議
- 世代間交流活動
- 地域のコミュニティ活動
- 環境美化活動
- 緑化活動
- 防犯防災活動
- 健康増進活動
- 防犯灯電気料(自治会・協議会が維持管理を行うもの)など

応援します。



問い合わせ 企画課 地域振興係 ☎ 57-8503



自治会・協議会の事業風景。

上から▲白岩団地自治会による芋ほり大会(野市町)▲清水八反地区まちづくり自治会による秋祭り風景(吉川町)▲東川まちづくり協議会による舞川ふれあい運動会(香我美町)▲第八地区まちづくり自治会による下枝切り作業(夜須町)

市長談話室

5

事前復興の観点から 防災を考える(2)



清藤 真司

先月からスタートし、数回に分けてお伝えする「事前復興の観点から防災を考える」の2回目。今月は、災害から被害を防ぐための基本とも言える「防災教育」についてです。

防災教育

防災教育と聞くと、子どもたちを対象にした学習だと思いがちですが、実は年齢や立場に関係なく、一人ひとりが正しい知識と災害に対する備えをしておくことによって、被害を防ぐことができる大切なことです。

◆とにかく自分の命を守ろう

南海トラフ巨大地震は、揺れが大きい上に揺れの時間も長く、その規模は阪神・淡路大震災以上とも言われています。阪神・淡路大震災での死亡要因の多くは木造家屋の倒壊による圧死で、その中には、室内家具の転倒による圧死も含まれています。

東日本大震災で津波被害の印象が強いのですが、まず地震の揺れから

生き残ることが絶対です。

◆地震の揺れに負けない

●揺れに強い家：被害を受ける可能性の高い住宅は、石に柱を載せただけの基礎であったり、筋交いの少ない家です。耐震診断を受け、場合によっては耐震工事をしておく目安です。

●地震に負けない部屋：震度6以上の揺れの中では、立っていることさえ

難しい状態になります。建物自体は大丈夫でも家具の下敷きや割れたガラスでけがをしたり、倒れた家具で出入口がふさがれ避難できないという状況にならないようにしましょう。

【出入口の確保】 玄関や庭に面した出入口の側にはなるべく物を置かないようにしましょう。

【ガラスの飛散防止】 ガラス片が飛

び散らないように窓やガラス戸に飛散防止フィルムを貼りましょう。また、厚手のカーテンは割れたガラスが飛び散るのを防いでくれます。

◆おすすめプチ情報

私がやっていることを1つだけ紹介します。枕元に靴と洋服を置く。これは、就寝中に地震が発生し、ガラスが割れたとしても靴があれば安全に避難することができます。そして洋服、ハンツとシャツの格好で避難するのは抵抗がありますよね。暗い中、洋服を探すのも大変。枕元に置いておくと安心です。



防災は、自然災害に対して必要な正しい知識を持ちそれぞれが備えを実行することによって可能となります。できることから取り組みましょう。

おすすめの本

三陸海岸 大津波

吉村 昭/著



明治以降(明治29年、昭和8年、昭和35年)、繰り返し三陸を襲った大津波について調査、取材、資料収集を徹底的に行った証言・記録集。先人の教えを守ること

で被害の出なかった地区、過去の経験から間違った教えを導き出し被害を出した地区。過去の経験から学ぶことの難しさを痛感する1冊です。